

はりま病院広報誌



第31号

2018年10月 発行

編集発行

特定医療法人社団仙齡会
はりま病院 広報委員会

3rd International Clinical Neurophysiology Conference of Iowaに参加して

整形外科部長 岡田 文明



今年の7月にアメリカ、アイオワ州のアイオワ大学のカンファレンスに参加してきました。まずアイオワ州は、アメリカ中西部にあり、大学を中心とした町です。少し離れればトウモロコシ畑が広がるのどかな所です。フィールド・オブ・ドリームスの映画の舞台になりました。私は、2000年から約1年半、木村・山田教授のおられる同大学神経内科電気生理部門に留学していました。今回、アイオワには約10年ぶりの訪問でした。はりま病院赴任後、腰仙椎専用の磁気刺激装置を使用し腰部脊柱管狭窄症の患者さんの神経評価をおこなっており、今回は健常者と比較したポスターセッションでの発表を行いました。馬尾神経の興味深いところは、画像で狭窄が強くても症状を有さない患者さんがおられることです。見た目だけではなく、神経の中身の評価ができ予後がわかればいいなと思っています。今回は、歴代留学されていた先生方の臨床を中心としたレクチャーがあり堪能するとともに、今後他の大学との共同研究などの展開を考えています。また、留学時プレーしていたアイオワダックスというラグビーチームの古い友人とも親交を深め、ダウンタウンに飲みにいきました。街は少し建物が増えましたが、人の心はかわらないなと感じました。今後も、アイオワの先生方と絆を深めつつ、自分の好きなフィールドを基盤に地域の皆様の少しでもお役にたてるように志し高く挑戦していきます。





新人職員紹介



おがわ さおり
看護師 小川 沙織

6月より外来で勤務しております小川です。初めて経験する業務が多くあり、スタッフの方にはご迷惑をかけますが、皆さんに優しく丁寧にご指導頂き、日々学びながら楽しく働くことができています。趣味は特にないですが、落ち着いたら運動を始めたいなと思っています。少しでも早く仕事を覚えられるように頑張りますので、よろしくお願ひします。



ふくはら ともみ
医事 福原 友美

7月から医事課で勤務しております福原です。周りのスタッフの皆様に優しくご指導いただき、徐々に仕事にも慣れてきました。休日や時間のある時はよくドラマや映画を観てリラックスしています。特に海外ドラマを観る事が楽しみです。また最近は運動不足解消の為にバドミントンを始めました。次の日は筋肉痛になっていますが、楽しみの1つです。ご迷惑をおかけするかもしれません、早く仕事が覚えられるように頑張ります。よろしくお願ひいたします。



やま もと こうじ
調理師 山本 晃司

7月16日から栄養課でお世話になっています調理師の山本晃司ともうします。趣味はブラックバス釣りで、休日はほぼ釣りに行っています。1日でも早く仕事を覚え、信頼関係を築き一人前の戦力となれるよう努力します。よろしくお願ひいたします。



はま の しょうへい
理学療法士 濱野 祥平

8月よりリハビリテーション課にて勤務させて頂いております理学療法士の濱野祥平です。新しい環境になり、慣れない面も多く皆様にご迷惑をお掛けしていますが、周りのスタッフの方々の優しいご指導に支えられながら、日々業務に取り組んでいます。こう見えて一歳半になる男の子の父親でもあり、休日には子供と過ごし、日々成長する息子の姿を見ることが楽しみの1つです。こんな私ですが、はりま病院の一員として地域医療に貢献できるように努力して参りますので、至らない点も多いかと思いますがどうかよろしくお願ひいたします。



やなぎざわ かよこ
看護師 柳澤 加代子

7月より人間ドック室で勤務しております柳澤です。病院での勤務が久しぶりで不安もありますが、皆様の優しく丁寧にご指導頂き、楽しく働かせていただいています。趣味はスポーツを観戦することです。中でもバドミントンは実際に行うのも好きで、時々体育館へ行き汗を流しています。ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、早く仕事を覚えてスムーズに業務が行えるよう頑張りますので、よろしくお願ひ致します。



おだ ようこ
医事 小田 陽子

5月より勤務しております小田陽子ともうします。不慣れな業務のため戸惑うことばかりでご迷惑をおかけしていると思いますが、皆さんにご指導いただきながら日々成長できたらと思っております。どうぞよろしくお願ひします。

全日本病院協会研究発表会に参加して

理学療法士 田路 亜起江



「部活動における腰痛症の実態とその取り組み」について発表しました。当院のスポーツ外来に腰痛で来院する子どもが増加しており、その約半数が分離症であったことが分かりました。発育期の子どもで腰を捻るスポーツが多くみられる疾患ですが、様子をみて過ごす事が多く、受診した時にはすでに偽関節（骨癒合が起こらない）になっている場合があります。その場合、将来すべり症や滑膜炎を起こすリスクがあるため、「ただの腰痛」で終わらせず早期発見ができればという思いで議題にしました。

分離症になると全てのスポーツを中止し、硬性コルセットを装着しなければなりません。思春期の子どもには硬いコルセットは窮屈で、またスポーツが出来ないことがストレスとなり家人とトラブルを起こす事もあります。他院から「その点をどのように対応していますか?」との質問を受けました。その質問で他の現場も悩んでいる事だと理解できました。正直難しいです。親の気持ちも子どもの気持ちも分かりますが、分離症は「骨折」であることを理解してもらい、将来の自分のために今頑張って欲しいという思いで説明をしています。辛いですがコルセットが取れて無事に競技復帰出来た時は嬉しく思います。今回の発表を介して少しでも多くの人に分離症に関心をもってもらい、腰痛のある子どもに受診を薦めて頂けたらと思いました。



作業療法士 芝原 あす香



「コルセット着用患者の入浴介入について」というテーマで発表しました。

去年当院に入職して、新しく始めたことです。実は自分自身、コルセット装着患者のリハビリの経験自体あまりなかったので、取り組みやその内容を発表することは不安でした。発表準備ではリハビリ課の上司・同僚に意見を聞いたり、スライドをみてもらったり、発表を聞いてもらったり…。私は話や考えをまとめることが苦手なので、皆さんの意見があったからちゃんとした形になり、発表に対する不安感も少しずつなくなりました。

リハビリ職について数年経ちますが、職場以外の方に向けて発表するのは新人発表ぶりだったので手が震えるほど緊張しました。発表が終わった直後、発表者の田路さん、付き添いの上司・同僚、発表を聴きに来てくださった看護師さんの顔を見てホッとした気持ちはなぜか忘れられません。発表することが決まったときはプレッシャーも感じたし、億劫に感じることもありました。しかし、発表が終わった今は達成感と皆さんへの有り難みを感じることができ、いい気付きを得ることができたと思います。貴重な時間を頂いて協力してもらい、励ましてもらい、感謝しています。

私の趣味

事務部 黒田 尚幸



私の趣味はサイクリングです。通勤用のクロスバイクと休日用にロードバイクの2台を所有しています。通勤時間は片道15分～20分ですがリフレッシュされます。また、休日時間のあるときも出来る限り乗っています。サイクリングの魅力は非日常的な体験が出来ることだと思います。田舎の澄んだ空気の中や海沿いの道を走ったりすると爽快感が味わえます!天気さえ良ければサイクリングは一年中楽しめ、1人でも家族・仲間同士でも年齢・性別・体力的に差があっても無理なく健康的に楽しめるスポーツです。私はこの先、年をとってもサイクリングはやめられないと思うので、怪我にだけ気をつけてこれからも全力でこの趣味を楽しんでいきます。



旬の献立

材料

生鮭……2切れ しめじ……1P えのき……1P 貝割れ……1/4P
塩こしょう……少々 小麦粉……少々 サラダ油……大さじ1



★ドレッシング用

醤油……大さじ1 醋……大さじ1 サラダ油……大さじ2 生姜しづり汁……小さじ1/2

作り方

- ① 鮭は皮と腹骨を取り、一口大のそぎ切りにする。塩こしょうをふり、薄く小麦粉をまぶす。
サラダ油を熱したフライパンで、鮭の両面を焼く。
- ② しめじとえのきは、石づきを切り、えのきは半分に切る。1～2分茹でたら水気を切っておく。
- ③ ボウルにドレッシングを予め合わせて混ぜおき、①、②、半分に切った貝割れを加えて全体によく和える。5分程度味を馴染ませた後盛り付ける。

Point

好みで生姜しづり汁をゆず果汁や、かぼす果汁に変えてもOK。

栄養課

編 集 後 記

朝晩 めっきり涼しくなって参りました。今年は猛暑が長かったため、一度に疲れが出てくる時期でもあり、皆さまは体調を崩されませんでしたか。10月になり、「読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋。皆さんはどの秋を堪能されていますか。」私は、出来ればどれも堪能したいと思います。

黒田